

# 投資信託説明書 (交付目論見書)

使用開始日 2019.11.23



# モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン

(為替ヘッジあり)  
(為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

※ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

| ファンド    | 商品分類    |        |                   | 属性区分                         |      |                 |               |           |
|---------|---------|--------|-------------------|------------------------------|------|-----------------|---------------|-----------|
|         | 単位型・追加型 | 投資対象地域 | 投資対象資産<br>(収益の源泉) | 投資対象資産                       | 決算頻度 | 投資対象地域          | 投資形態          | 為替ヘッジ     |
| 為替ヘッジあり | 追加型     | 内外     | 株式                | その他資産<br>(投資信託証券<br>(株式 一般)) | 年1回  | グローバル<br>(日本含む) | ファミリー<br>ファンド | あり(フルヘッジ) |
| 為替ヘッジなし |         |        |                   |                              |      |                 |               | なし        |

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

※商品分類および属性区分の内容については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)でご覧いただけます。

- 本書は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は、委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードできます。
- 本書には、約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。
- ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認します。
- ファンドの財産は、信託法に基づき受託会社において分別管理されています。
- 請求目論見書は、販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。(請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようお願いいたします。)

この目論見書により行う「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)」および「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2019年5月24日に関東財務局長に提出しており、2019年5月25日に効力が生じております。

## 委託会社:三菱UFJ国際投信株式会社

ファンドの運用の指図等を行います。

金融商品取引業者:関東財務局長(金商)第404号

設立年月日:1985年8月1日

資本金:20億円

運用投資信託財産の合計純資産総額<sup>1</sup> 14兆5,105億円

(2019年8月30日現在)

ホームページアドレス

<https://www.am.mufig.jp/>

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034 (受付時間:営業日の9:00~17:00)

## 受託会社:株式会社りそな銀行

ファンドの財産の保管・管理等を行います。



| ファンドの名称                         |           | 略称      |
|---------------------------------|-----------|---------|
| モルガン・スタンレー<br>グローバル・プレミアム株式オープン | (為替ヘッジあり) | 為替ヘッジあり |
|                                 | (為替ヘッジなし) | 為替ヘッジなし |

以上を総称して「当ファンド」ということがあります。また、各々を「各ファンド」ということがあります。

# ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

信託財産の成長を目指して運用を行います。

## ファンドの特色

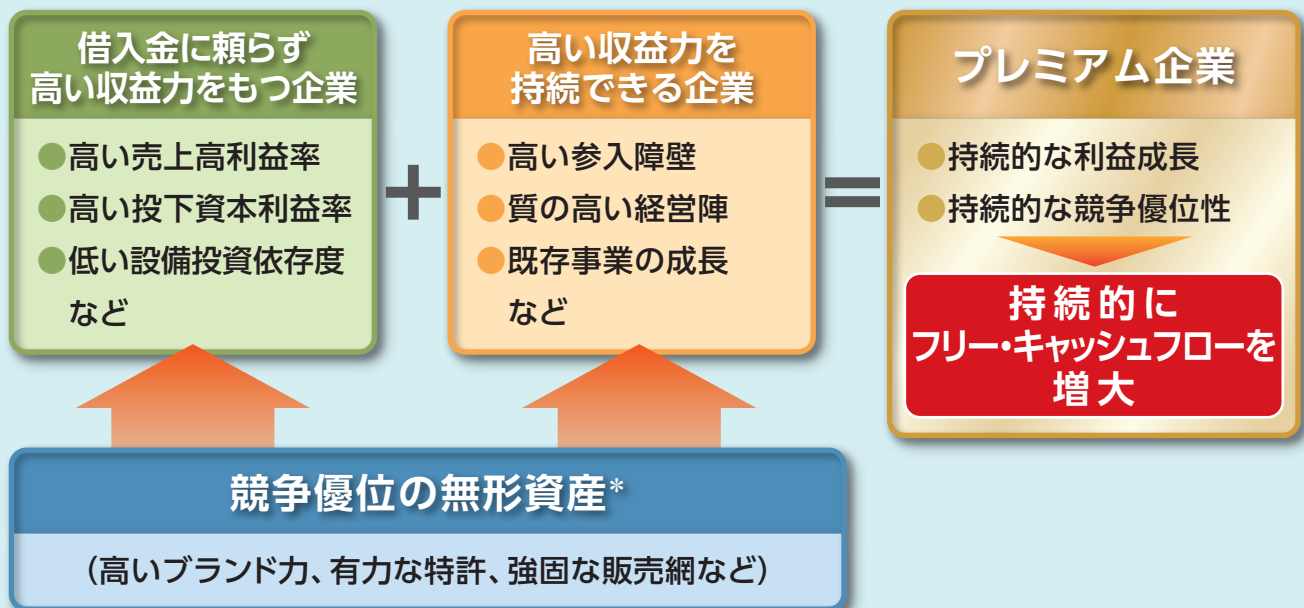
特色

1

世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

### プレミアム企業とは

当ファンドにおいて「プレミアム企業」とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。



\* 競争優位の無形資産は、競合他社と自社の製品・サービスとを差別化することに寄与するため、収益力の源泉となり、また、競合他社による模倣や複製が困難であるため、収益力を持続させる役割を担います。

※上図はプレミアム企業のイメージをあらわしたものです。

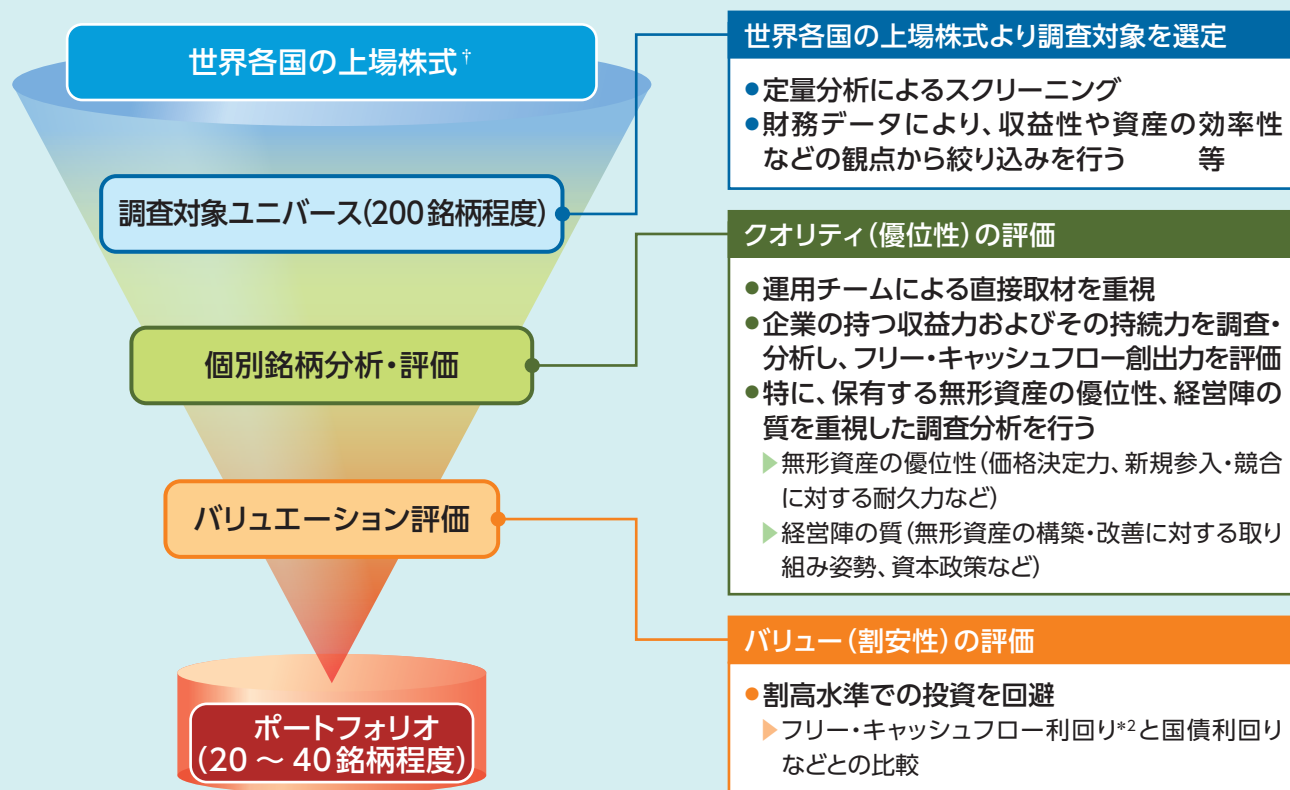
### フリー・キャッシュフローに着目すると

- ◆フリー・キャッシュフローとは、「事業活動による儲け」から「必要な投資」を差し引いて、手元の現金がいくら増えたかを表す指標です。営業キャッシュフロー（事業活動により得られた現金収入とそれに要する現金支出との差額）と投資キャッシュフロー（事業を維持・拡大するために必要な投資活動による現金収支）を合算して求めます。
- ◆フリー・キャッシュフローは、配当や自社株買いなどの「株主還元」や「事業への再投資」の原資となることから、企業価値を中長期的に維持・向上できるかを判断するのに役立ちます。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチ<sup>\*1</sup>を行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

- ◆ 収益性、財務内容の分析に加え、保有する無形資産や経営陣の質などから利益成長の持続可能性を多面的に分析します。

## 運用プロセス



† 金融商品取引所上場(これに準ずるものを含みます。)株式をいいます。

※ 上記は2019年8月末現在のものであり、将来変更される可能性があります。また、一部簡略化して記載している部分があります。

- ◆ 原則として、厳選した20～40銘柄に集中投資を行います。
- ◆ 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。



\*1 【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

\*2 【フリー・キャッシュフロー利回り】 1株当たりフリー・キャッシュフロー/株価

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。

- ◆ モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド(所在地:英国ロンドン)は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの欧州拠点です。
- ◆ モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントは、世界各国に拠点を持つグローバル総合金融機関であるモルガン・スタンレーの資産運用部門で、株式運用において大手の資産運用グループの一つです。

## 特色4

為替ヘッジの有無により、「為替ヘッジあり」および「為替ヘッジなし」があります。

- ◆「為替ヘッジあり」は、外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。為替ヘッジに関しては、委託会社が行います。

※一部の通貨については、その通貨との相関が高いと判断される代替通貨により対円で為替ヘッジを行うことがあります。

- ◆「為替ヘッジなし」は、外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向や市況動向、残存信託期間等の事情によっては、特色1、特色2、特色4のような運用ができない場合があります。

## 特色5

年1回決算を行い、収益の分配を行います。

- ◆ 毎年2月23日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

### 収益分配方針

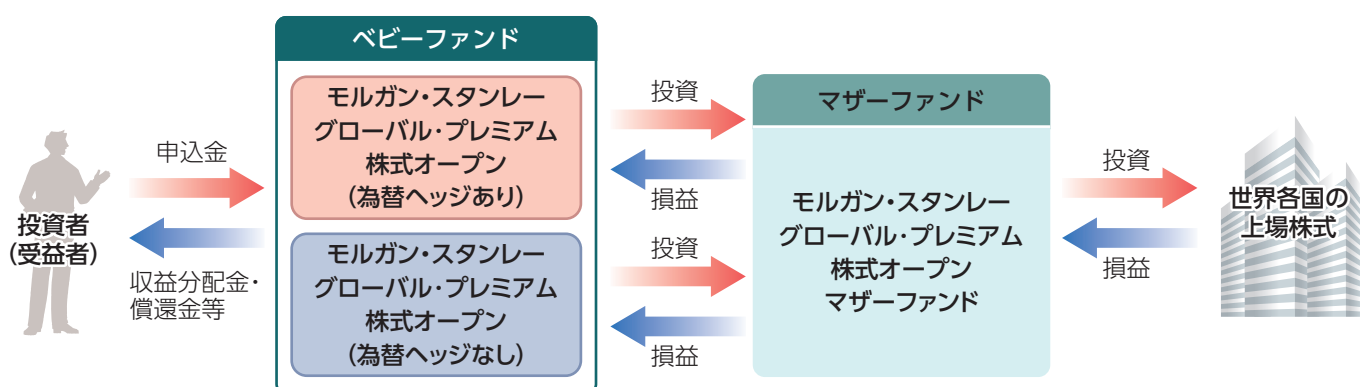
- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。(ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

## ■ ファンドのしくみ

ファミリーファンド方式により運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。



※各ファンド間でスイッチングが可能です。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。また、スイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。

くわしくは販売会社にご確認ください。

## ■ 主な投資制限

|             |                                         |
|-------------|-----------------------------------------|
| マザーファンドへの投資 | マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。                |
| 株式への投資      | 株式への実質投資割合は、制限を設けません。                   |
| 同一銘柄の株式への投資 | 同一銘柄の株式への実質投資割合は、各ファンドの純資産総額の10%以内とします。 |
| 外貨建資産への投資   | 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。                |



# 投資リスク

## ■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

### 株価変動 リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。

### 為替変動 リスク

#### <為替ヘッジあり>

投資する株式は、世界各国の現地通貨建等のものとなります。外貨建資産に投資を行いますので、為替変動リスクが生じます。これらの外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。また、円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

#### <為替ヘッジなし>

投資する株式は、世界各国の現地通貨建等のものとなります。外貨建資産に投資を行いますので、投資している有価証券の発行通貨が円に対して強く(円安に)なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

## ■ その他の留意点

- 投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

## ■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

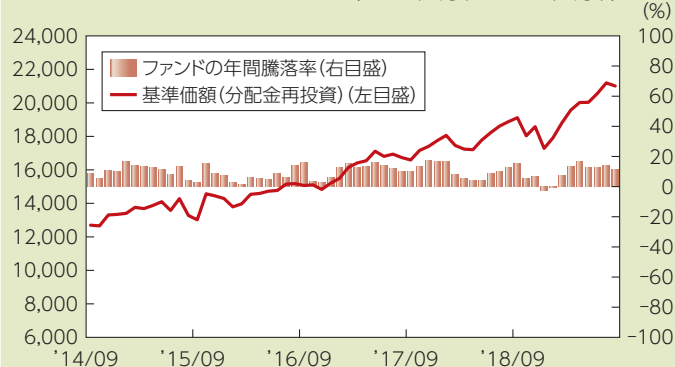
## ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

### 為替ヘッジあり

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

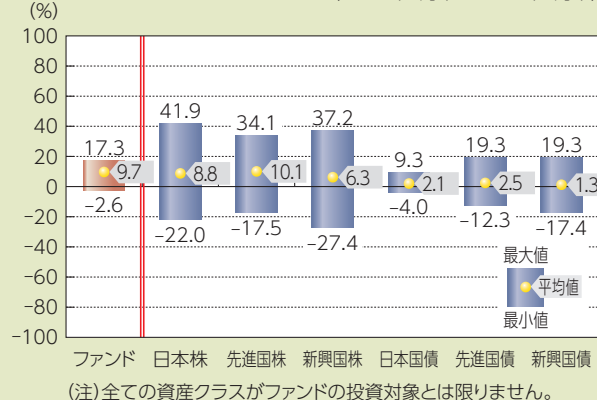
#### ● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

(2014年9月末～2019年8月末)



#### ● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年9月末～2019年8月末)

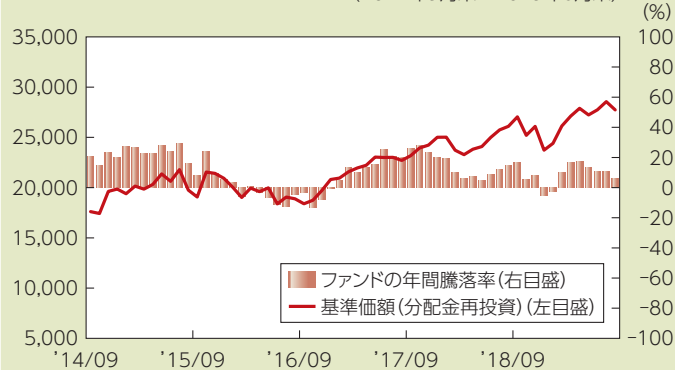


- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 為替ヘッジなし

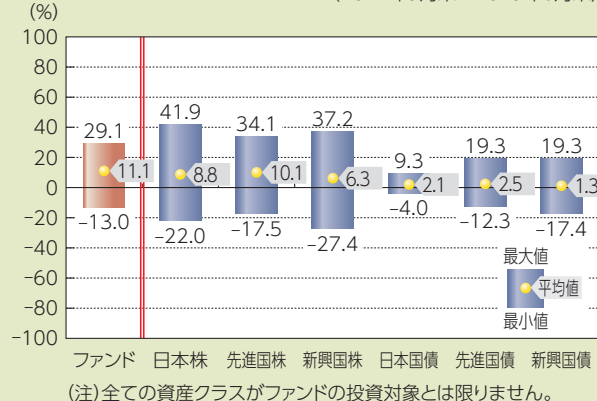
#### ● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移

(2014年9月末～2019年8月末)



#### ● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年9月末～2019年8月末)



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率は、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。



# 投資リスク

## 代表的な資産クラスの指数について

| 資産クラス | 指数名                            | 注記等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本株   | 東証株価指数 (TOPIX)<br>(配当込み)       | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。                                                                                                                          |
| 先進国株  | MSCIコクサイ・インデックス<br>(配当込み)      | MSCIコクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。                                                                                                                                                                                                               |
| 新興国株  | MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み) | MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。                                                                                                                                                                                                    |
| 日本国債  | NOMURA-BPI (国債)                | NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。                                                                                                                        |
| 先進国債  | FTSE世界国債インデックス<br>(除く日本)       | FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。 |
| 新興国債  | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド    | JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。                                                                                                                                         |

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

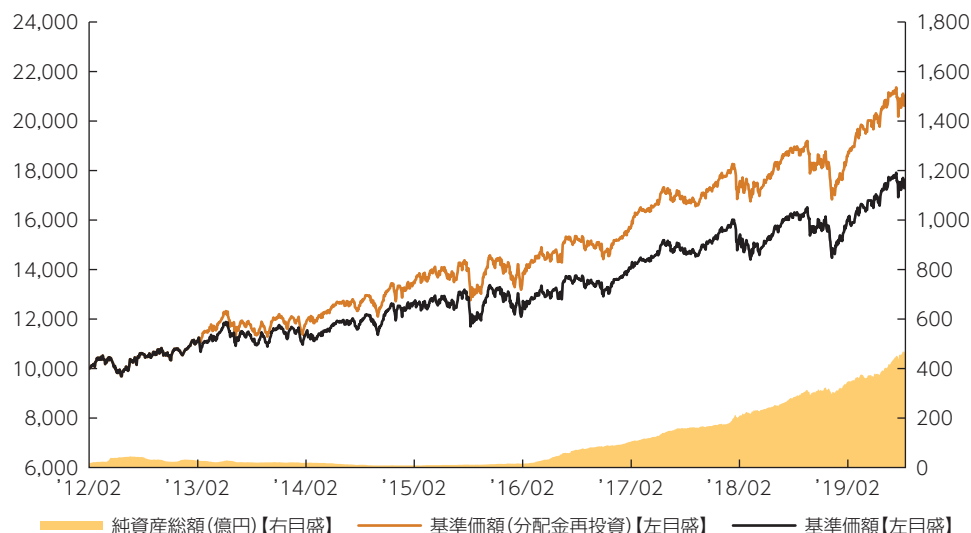


# 運用実績

2019年8月30日現在

## 為替ヘッジあり

### ■ 基準価額・純資産の推移 2012年2月17日(設定日)～2019年8月30日



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

### ■ 基準価額・純資産

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 17,615円 |
| 純資産総額 | 479.2億円 |

### ■ 分配の推移

|           |        |
|-----------|--------|
| 2019年 2 月 | 400円   |
| 2018年 2 月 | 300円   |
| 2017年 2 月 | 300円   |
| 2016年 2 月 | 300円   |
| 2015年 2 月 | 300円   |
| 2014年 2 月 | 300円   |
| 設定来累計     | 2,300円 |

- ・分配金は1万円当たり、税引前

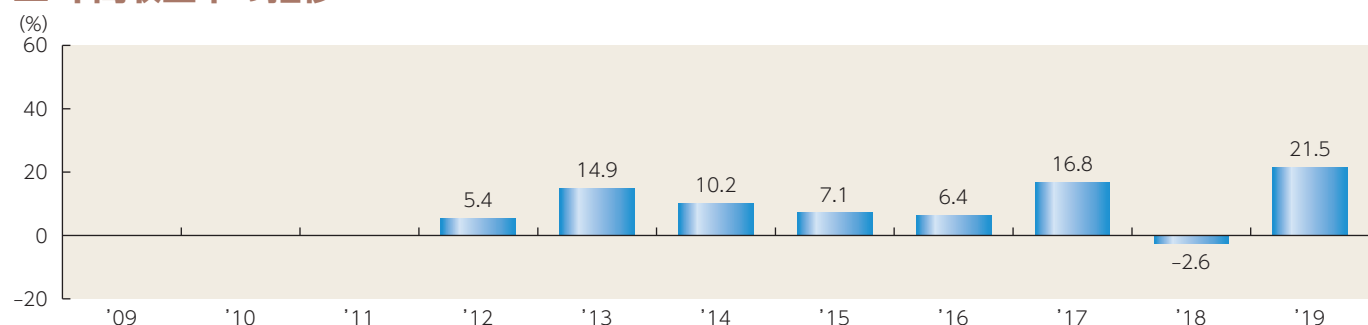
### ■ 主要な資産の状況

| 組入通貨 | 比率    |
|------|-------|
| 1 円  | 97.5% |
| その他  | 2.5%  |

| 組入上位銘柄                        | 業種           | 国・地域 | 比率   |
|-------------------------------|--------------|------|------|
| 1 MICROSOFT CORP              | ソフトウェア・サービス  | アメリカ | 7.8% |
| 2 RECKITT BENCKISER GROUP PLC | 家庭用品・パーソナル用品 | イギリス | 7.3% |
| 3 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL | 食品・飲料・タバコ    | アメリカ | 6.0% |
| 4 VISA INC-CLASS A SHARES     | ソフトウェア・サービス  | アメリカ | 5.4% |
| 5 SAP SE                      | ソフトウェア・サービス  | ドイツ  | 5.1% |
| 6 UNILEVER PLC                | 家庭用品・パーソナル用品 | イギリス | 5.1% |
| 7 ACCENTURE PLC-CL A          | ソフトウェア・サービス  | アメリカ | 4.7% |
| 8 BAXTER INTERNATIONAL INC    | ヘルスケア機器・サービス | アメリカ | 4.3% |
| 9 DANAHER CORP                | ヘルスケア機器・サービス | アメリカ | 3.6% |
| 10 COCA-COLA CO/THE           | 食品・飲料・タバコ    | アメリカ | 3.6% |

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

### ■ 年間収益率の推移



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2012年は設定日から年末までの、2019年は年初から8月30日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。  
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

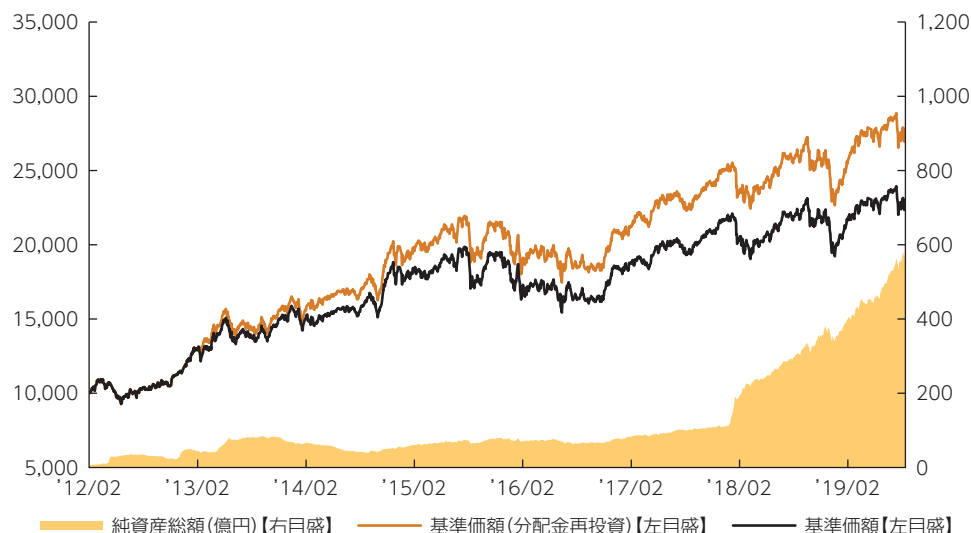


# 運用実績

2019年8月30日現在

## 為替ヘッジなし

### ■ 基準価額・純資産の推移 2012年2月17日(設定日)～2019年8月30日



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

### ■ 基準価額・純資産

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 23,006円 |
| 純資産総額 | 586.7億円 |

### ■ 分配の推移

|           |        |
|-----------|--------|
| 2019年 2 月 | 500円   |
| 2018年 2 月 | 400円   |
| 2017年 2 月 | 400円   |
| 2016年 2 月 | 400円   |
| 2015年 2 月 | 500円   |
| 2014年 2 月 | 500円   |
| 設定来累計     | 3,200円 |

- ・分配金は1万円当たり、税引前

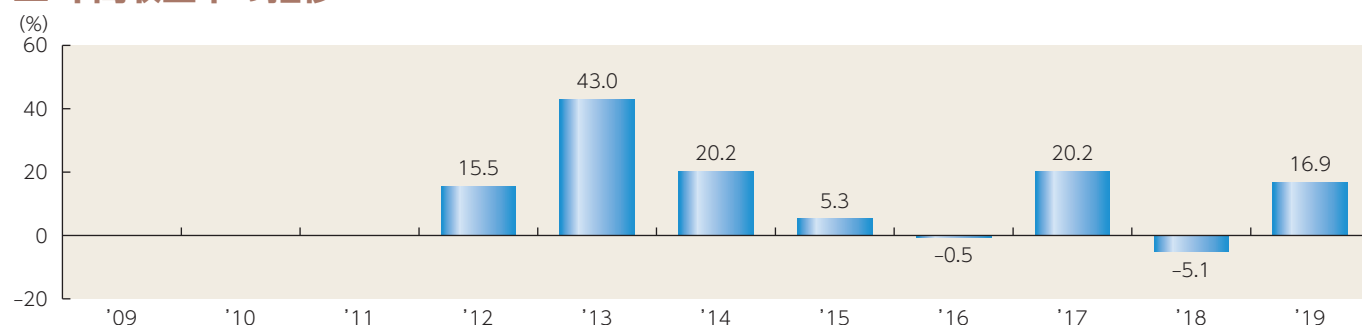
### ■ 主要な資産の状況

| 組入上位通貨       | 比率    |
|--------------|-------|
| 1 アメリカドル     | 61.7% |
| 2 イギリスポンド    | 20.3% |
| 3 ユーロ        | 16.9% |
| 4 円          | 1.1%  |
| 5 スウェーデンクローネ | 0.0%  |
| 6 スイスフラン     | 0.0%  |

| 組入上位銘柄                        | 業種           | 国・地域 | 比率   |
|-------------------------------|--------------|------|------|
| 1 MICROSOFT CORP              | ソフトウェア・サービス  | アメリカ | 7.9% |
| 2 RECKITT BENCKISER GROUP PLC | 家庭用品・パーソナル用品 | イギリス | 7.5% |
| 3 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL | 食品・飲料・タバコ    | アメリカ | 6.1% |
| 4 VISA INC-CLASS A SHARES     | ソフトウェア・サービス  | アメリカ | 5.5% |
| 5 SAP SE                      | ソフトウェア・サービス  | ドイツ  | 5.2% |
| 6 UNILEVER PLC                | 家庭用品・パーソナル用品 | イギリス | 5.2% |
| 7 ACCENTURE PLC-CL A          | ソフトウェア・サービス  | アメリカ | 4.8% |
| 8 BAXTER INTERNATIONAL INC    | ヘルスケア機器・サービス | アメリカ | 4.4% |
| 9 DANAHER CORP                | ヘルスケア機器・サービス | アメリカ | 3.7% |
| 10 COCA-COLA CO/THE           | 食品・飲料・タバコ    | アメリカ | 3.7% |

- ・各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- ・外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

### ■ 年間収益率の推移



- ・収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- ・2012年は設定日から年末までの、2019年は年初から8月30日までの収益率を表示
- ・ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。  
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。



#



#



## 税金

税金は、以下の表に記載の時期に適用されます。この表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

| 時 期           | 項 目       | 税 金                                        |
|---------------|-----------|--------------------------------------------|
| 分配時           | 所得税および地方税 | 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%                 |
| 換金(解約)時および償還時 | 所得税および地方税 | 譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315% |

※上記は、2019年8月末現在のものです。

※「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。くわしくは、販売会社にお問合わせください。

※2020年1月1日以降の分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人の場合は、上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等に確認されることをお勧めします。

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]



目論見書を読み解くガイド

<https://www.am.mufg.jp/service/faqpoint/index.html>